

# パイプ倉庫 GR-308 部材表

製品寸法  
間口 5.55m  
高さ 2.9m  
奥行 5.57m

保存

【1611】

No.	品名	規格	数量	形状	No.	品名	規格	数量	形状
A-1ケース (袋)					Gケース				
①	アーチパイプ	31.8×310 mm cm	5		②9	ベース用中継角パイプ	45×20 mm cm	4	
②	レールパイプ	19×227 mm cm	2		③0	角パイプ用キャップ		4	
A-2ケース (袋)					③1	一つ穴Tバンド	32用	2	 32刻印
③	アーチパイプ	31.8×310 mm cm	6		③2	パイプ止金具	32用	21	
A-3ケース (袋)					③3	ビニバー継手		10	
④	アーチパイプ	31.8×310 mm cm	5		③4	妻金具	31.8用	10	
Bケース					③5	外ジョイント	36×300	8	
⑤	脚パイプ	31.8×160 mm cm	16		③6	トップクロス	38×25	8	
Cケース					③7	パイプクロス	32×25	32	
⑥	横通しパイプ	25×146S mm cm	15		③8	Rバンド	70m	2	
⑦	横通しパイプ	25×140 mm cm	5		③9	リピートタイ	RF-250	100	
Dケース					④0	キャップ	25mm用	10	
⑧	ベース用角パイプ	5×5×166 cm cm cm	2		④1	ボルトナット	M8×25mm	3	 長い
⑨	ツカパイプ	19×68HHPP mm cm	1		④2	ボルトナット	M8×15mm	12	 短い
⑩	ツカパイプ	19×88PH mm cm	1		④3	ボルトナット	M10×65mm	14	
⑪	後パイプ	31.8×170SH mm cm	3		④4	ボルトナット	M8×45mm	3	
⑫	後パイプ	31.8×104PH mm cm	2		④5	一つ穴Tバンド	38用	1	 38刻印
⑬	ストレート杭	66cm	21		④6	リング		4	
⑭	後パイプ	31.8×124PH mm cm	1		天幕ケース				
Eケース					④7	天幕	約幅9.2m 長6.1m	1	
⑮	ベース用角パイプ	5×5×200 cm cm cm	2		④8	後幕		1	
⑯	フラットバー	5×200 cm cm	2	 (前用)	④9	前幕		1	 カブリ
⑰	フラットバー (短管付)	5×200 cm cm	1	 (後用)	④9 内部品セット				
⑱	フラットバー (中)	5×189 cm cm	2		a	Sカン		12	
⑳	ビニバー	168.5cm	2		b	Sカン付ゴムロープ		2	
㉑	ビニバー	153cm	1		c	Wニューユニバーサル	31.8×19	2	
㉒	ビニバー	162cm	1		d	ニューユニバーサル	25用	2	 25.4刻印
㉓	ビニバー	185cm	2		e	ニューユニバーサル	22用	1	 22.2刻印
㉔	フラットバー (短管付)	5×189 cm cm	1	 (後用)	f	三穴T型ジョイント	19×19	1	 19刻印
Fケース					g	ナップ止め		7	
㉕	ベース用角パイプ	5×5×200 cm cm cm	2						
㉖	フラットバー	5×200 cm cm	2	 (中用)					
㉗	フラットバー (短管付)	5×200 cm cm	1	 (後用)					
㉘	ビニバー	180cm	9						
㉙	スプリング	2m	15						

# パイプ倉庫 GR-308 組立説明書



この度は当社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
 この商品の組立て作業は成人男性2人で行ってください。  
 組立てる前に部材表と梱包部材に相違が無いことを確認し(小さい部品の管理に注意する)、  
 『安全上の注意』をよくお読みになり、安全に作業してください。

## 安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。  
 ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

### ⚠警告

- この項目の内容は「人が死亡または重傷<sup>※1</sup>を負う可能性が想定される内容」を示しています。  
 ※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療入院や長期通院を要するものを指します。
- ⓧ**禁止 固定を行わない設置**  
 弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋棒やアンカーの打ち込み」による固定が必要となっております。固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置して下さい。  
 また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まっている場合、アンカーを打つ場所に、先に下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置して下さい。
  - ⓧ**禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置**  
 これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。このような場所には絶対に設置しないで下さい。
  - ⓧ**禁止 風が強い場所への設置**  
 強風(ビル間・川間・海側・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置して下さい。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置して下さい。
  - ⓧ**禁止 積雪・落雪がある場所への設置**  
 積雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所に設置すると、落下した雪の重さに耐え切れず製品が損傷・倒壊するおそれがあります。
  - ⓧ**禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置**  
 傾斜のない平坦な場所に設置して下さい。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。
  - ⓧ**禁止 火の影響を受ける場所への設置**  
 焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないで下さい。
  - ⓧ**禁止 幹線道路・線路の付近への設置**  
 強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。
  - ⓧ**禁止 変電所・高圧電線付近への設置**  
 強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。
  - ⓧ**禁止 その他危険な場所への設置禁止**  
 上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないで下さい。
  - ⓧ**禁止 悪天候時の設置・補修作業**  
 悪天候時の組立・補修作業を行わないで下さい。災害の原因となるおそれがあります。
  - ⓧ**禁止 素手での設置・補修作業**  
 組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業して下さい。
  - ⓧ**禁止 シートを張る作業について**  
 弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張って下さい。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやビニールが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。
  - ⓧ**禁止 目的外の使用禁止**  
 弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用下さい。他の用途には絶対に使用しないで下さい。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないで下さい。
  - ⓧ**禁止 火気禁止**  
 弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないで下さい。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意下さい。
  - ⓧ**禁止 危険物の貯蓄禁止**  
 危険物(可燃物・劇物・爆物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないで下さい。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめ下さい。
  - ⓧ**禁止 換気にご注意**  
 内部でエンジンのアイドリングを行わないで下さい。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないで下さい。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行って下さい。

### ⚠注意

- この項目は「人が傷害<sup>※2</sup>を負う可能性が想定される内容や、物的傷害<sup>※3</sup>の発生が想定される内容」を示しています。  
 ※2「傷害」とは、治療入院や長期通院を要さないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。  
 ※3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。
- ⓧ**注意 バイブに物を掛けない。**  
 構造材のバイブに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないで下さい。
  - ⓧ**注意 操作に関するご注意**  
 閉鎖できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めて下さい。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。
  - ⓧ**注意 強風の場合**  
 強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等を外しまとめてロープ等で止めて下さい。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、強風時にはシート・ビニール・ネット等を外すだけでなく、畳んで収納して下さい。
  - ⓧ**注意 雪が降っている場合**  
 雪が積もった場合は、随時雪降ろし作業を行って下さい。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないで下さい。内部に入る前に、必ず雪降ろしを行って下さい。
  - ⓧ**注意 仕様変更**  
 商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

### ■メンテナンス(保持管理)について

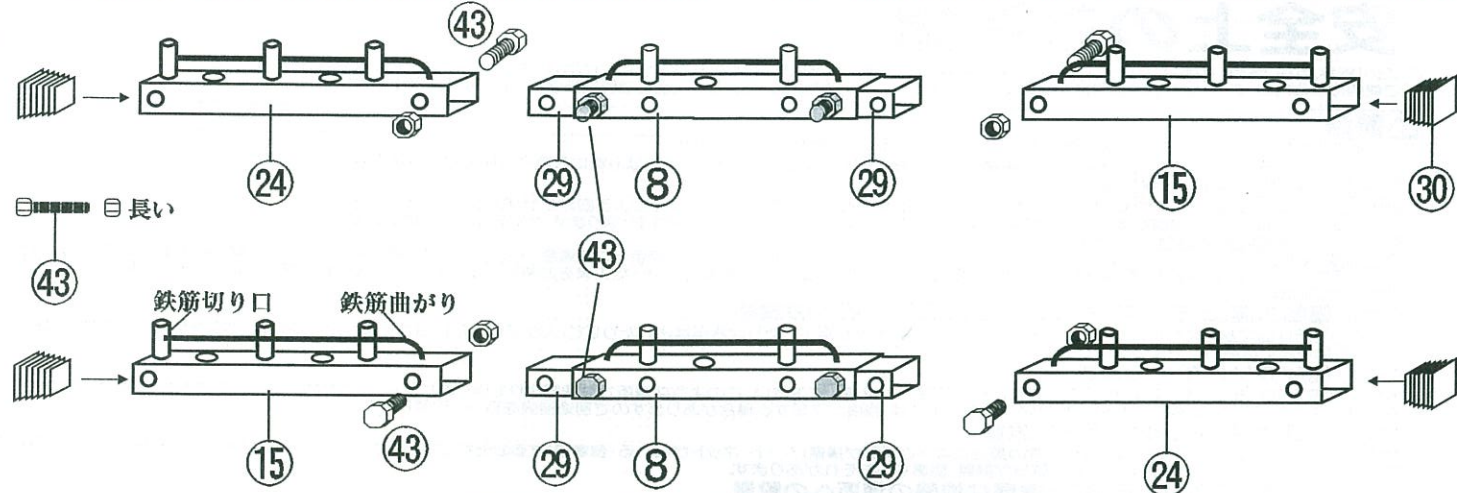
- 弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行って下さい。
- ⓧ**注意 アンカー・固定ひもの点検**  
 弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認して下さい。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行って下さい。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。
  - ⓧ**注意 シート・ビニール・ネットの点検**  
 弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認して下さい。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きくなったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。
  - ⓧ**注意 降雨後のお手入れ**  
 雨が降った後などシートに水がたまった場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直して下さい。水がたまったままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。
  - ⓧ**注意 交換用部材の発注について**  
 交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文下さい。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管して下さい。

### 必要工具を準備する

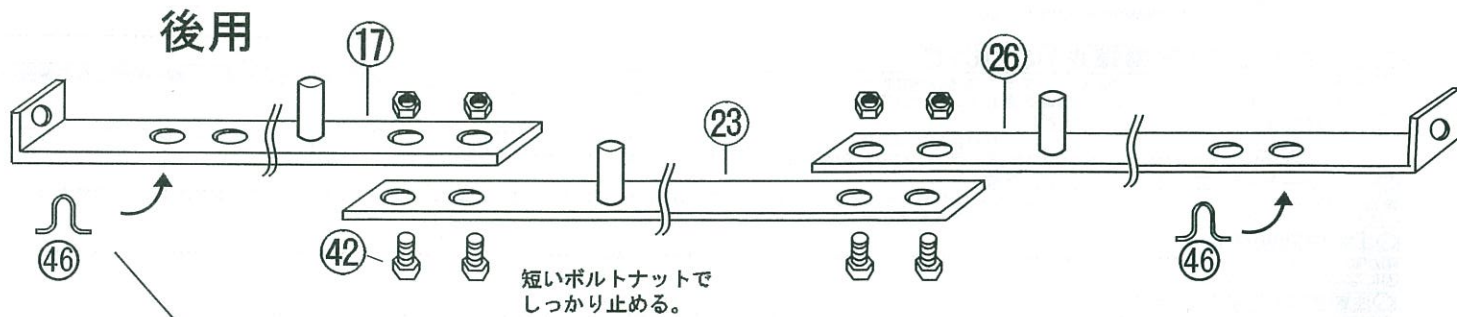
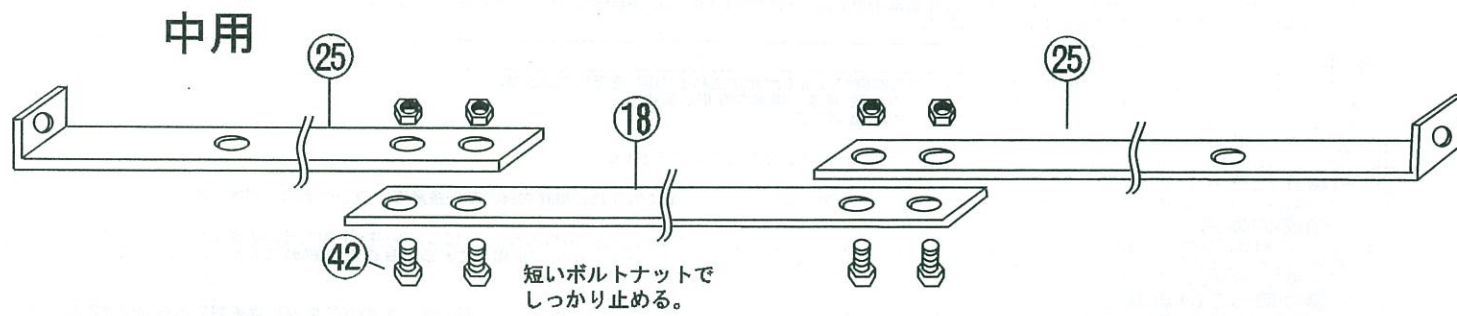
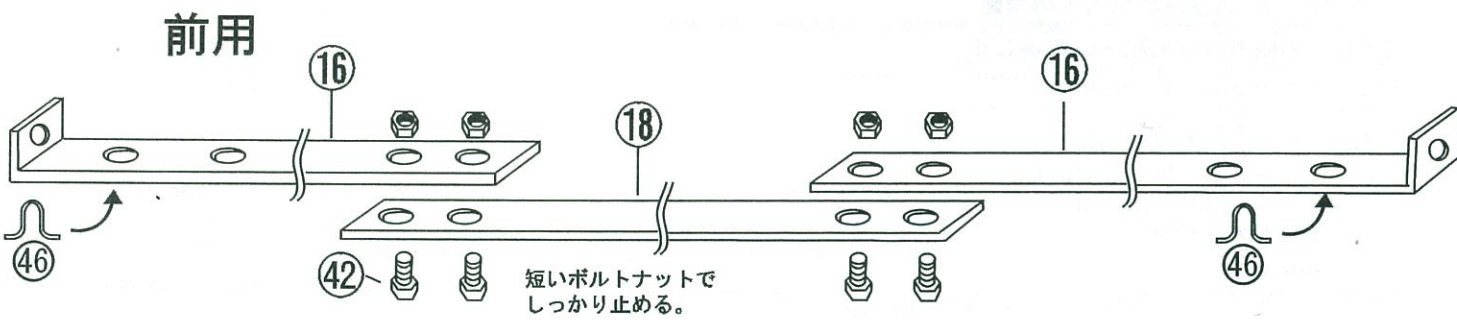
- メジャー (寸法測定用)
- 軍手 (作業)
- コンクリートクギ (または、クギ)
- ハンマー (部品取り付け)
- マジック (パイプ印付け用)
- スパナ (部品取り付け)
- 脚立 (作業)
- モンキー (部品取り付け)
- ドライバー (ネジ締め付け)
- プライヤー (部品取り付け)
- ハサミ
- カッター

1 ベース用角パイプの組み立て。長いボルトナットでしっかり止める。

※下図の様に、向きに注意して組み合わせる。【注】鉄筋の切り口・曲がりの向きに十分注意して下さい。



2 フラットバーにリングを取り付けて、継ぐ。



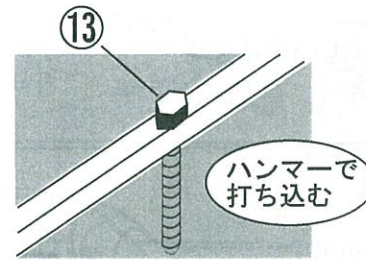
3 フラットバーをベース用角パイプの内側に取付け、クイ穴に ⑬ ストレート杭を打ち込みしっかり固定する。

【注】安全の為、下図の様な固定をして下さい。

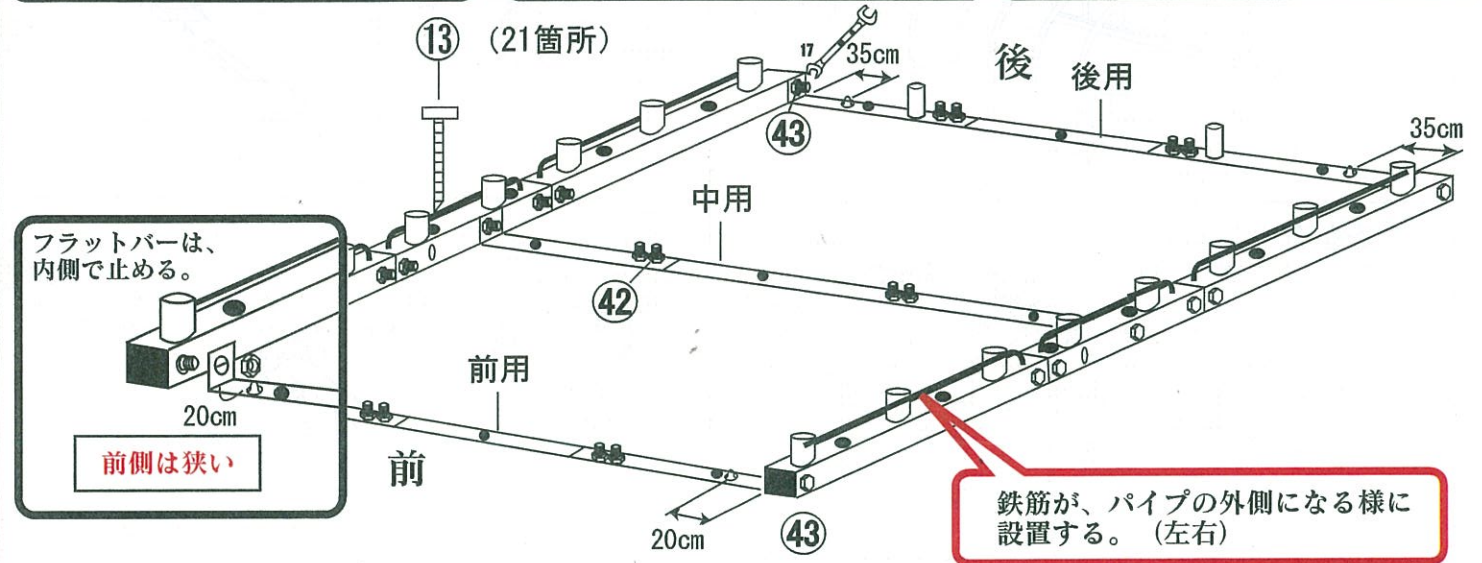
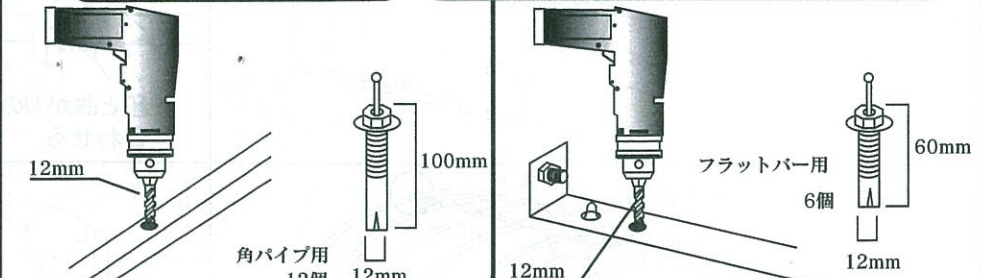
(注) オールアンカーはホームセンター等で買求め下さい。

穴は共通ですので、いずれかの方法を選択して下さい。

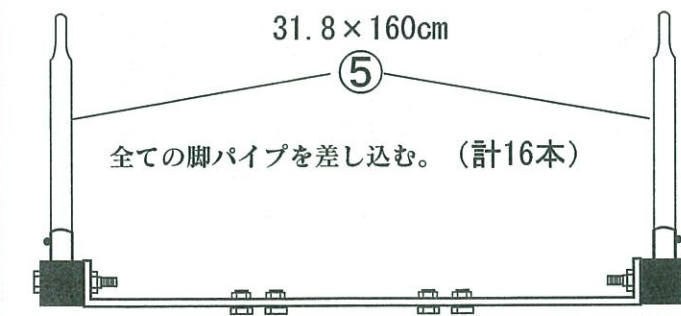
土・アスファルト固定方法



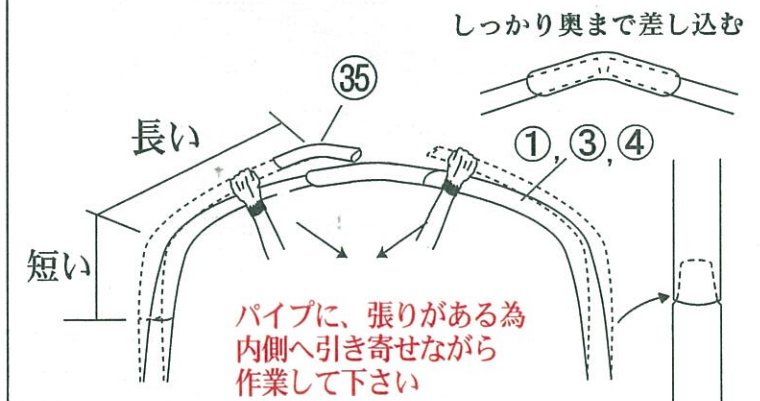
コンクリート固定方法



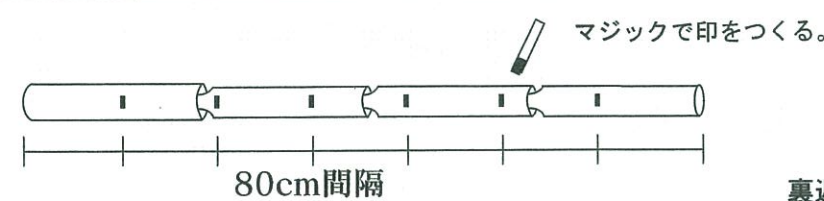
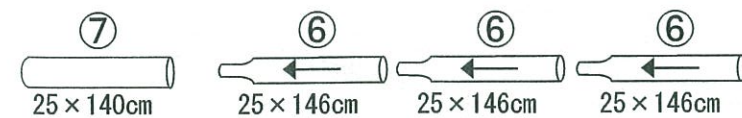
4 脚パイプを差し込む。



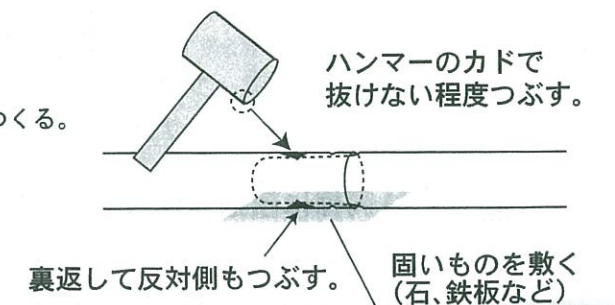
5 アーチパイプを組み、差し込む。



6 横通しパイプを継ぎ、印を付ける。(5組作る。)

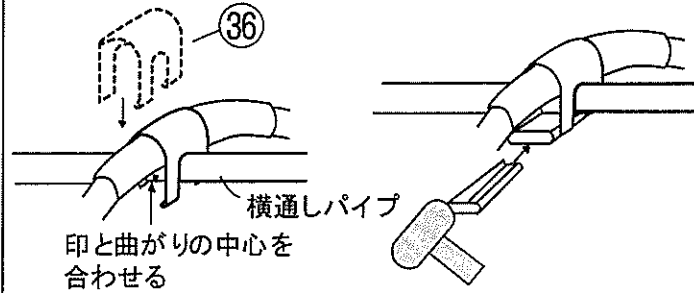
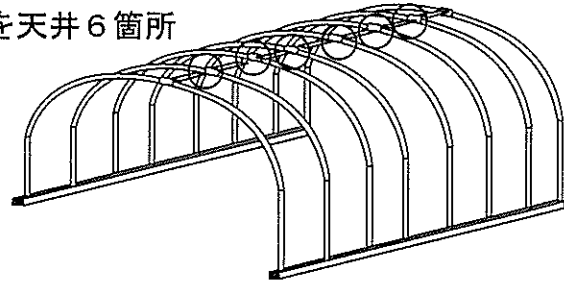


⚠ 全ての継ぎ目を抜けないようにする。(完成後、風などの揺れて、抜ける事があります)

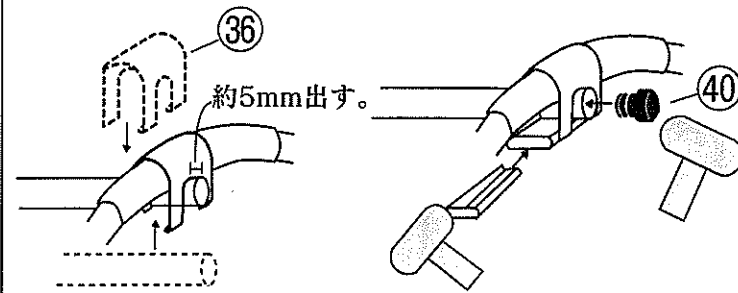
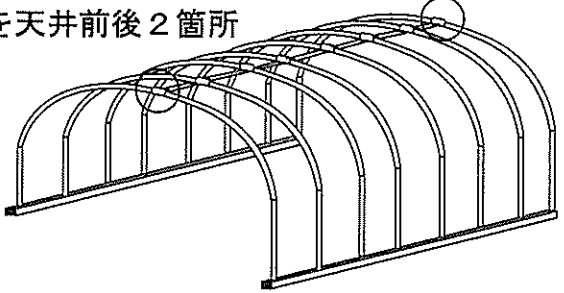


7 ⑥でつくった横通しパイプを取り付ける。(5本取り付ける)

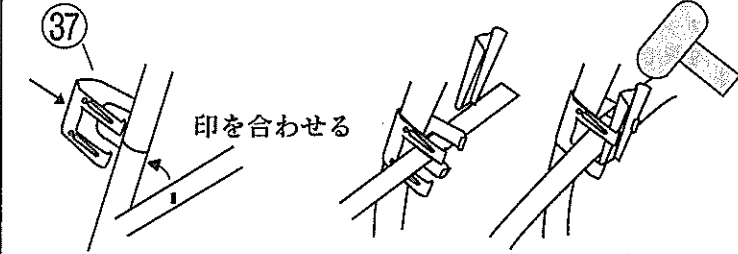
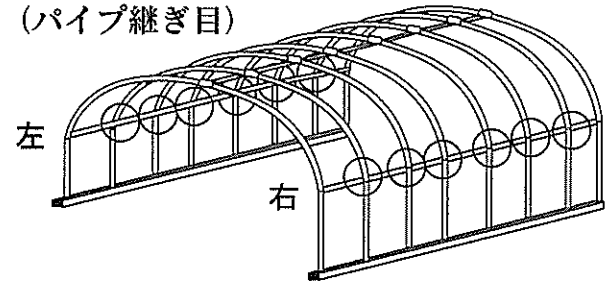
③⑥を天井6箇所



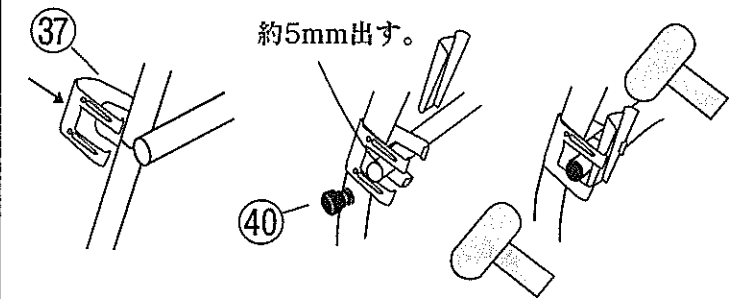
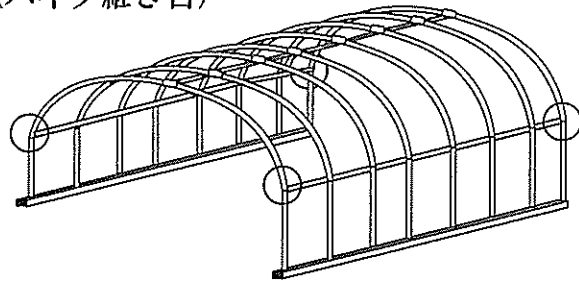
③⑥を天井前後2箇所



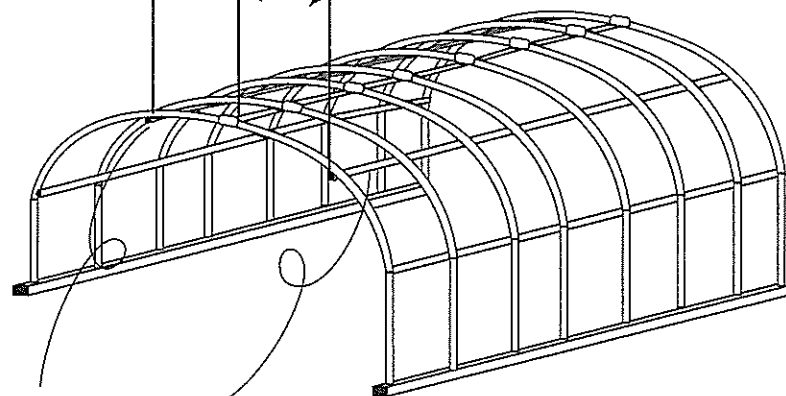
③⑦を左右中12箇所  
(パイプ継ぎ目)



③⑦を前後左右4箇所  
(パイプ継ぎ目)



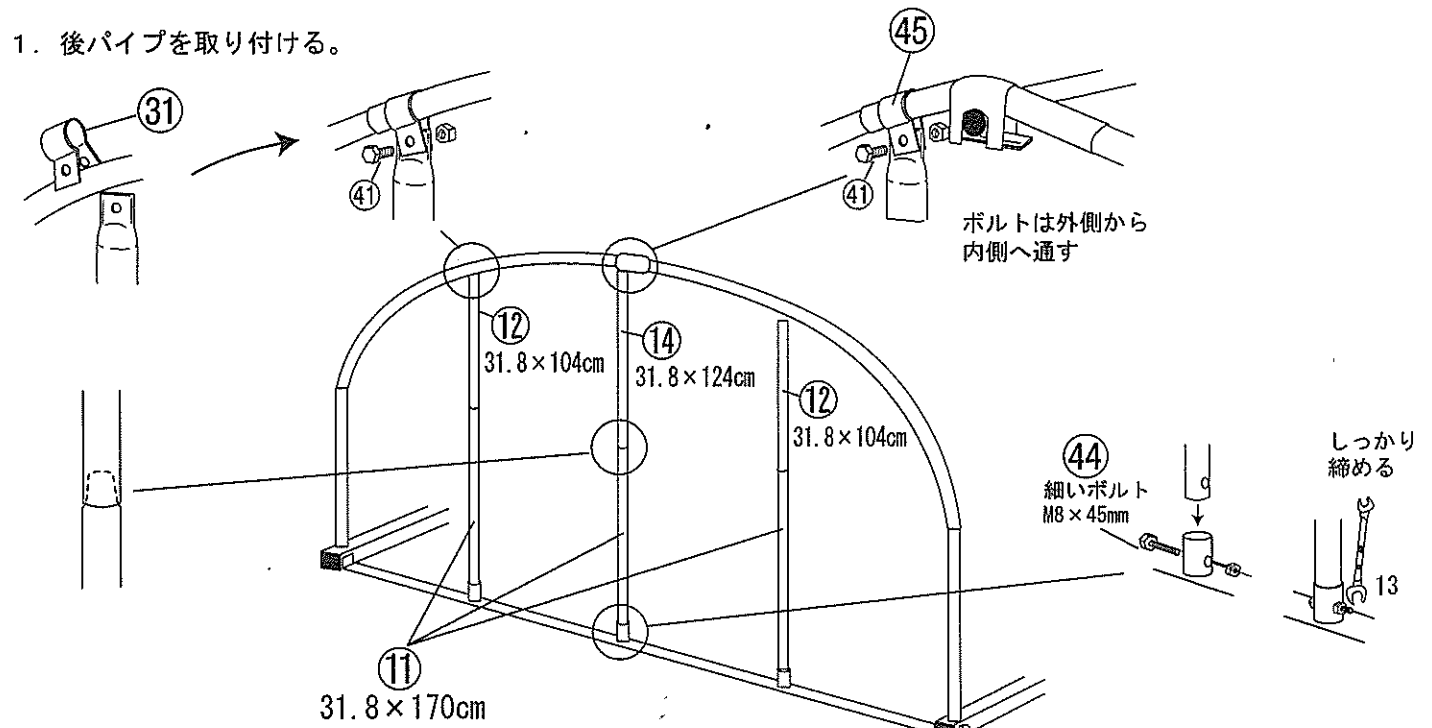
約1.3m 約1.3m



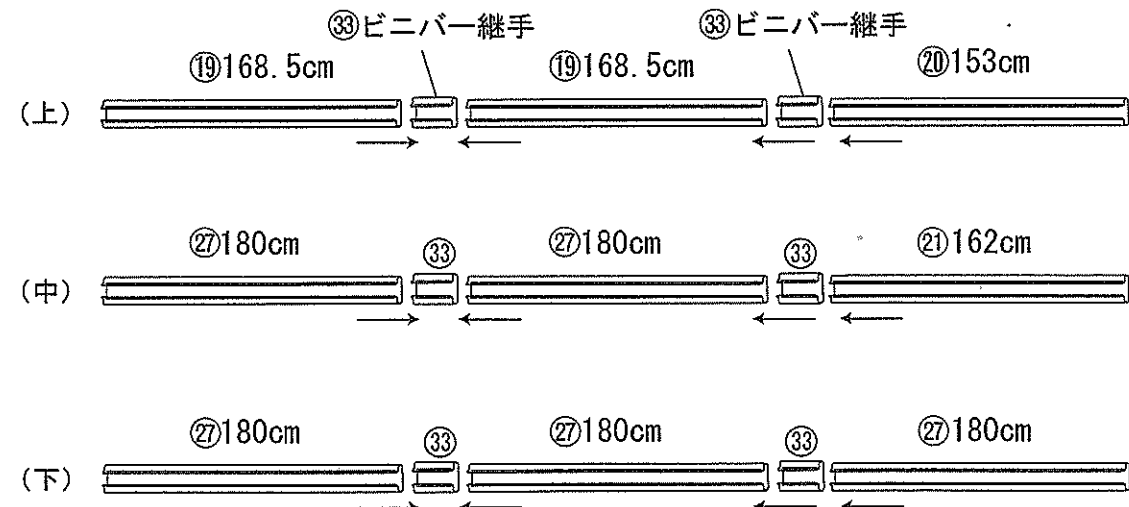
③⑦をつかい同様に横通しパイプを取り付ける。

8 後部を組み立てる。

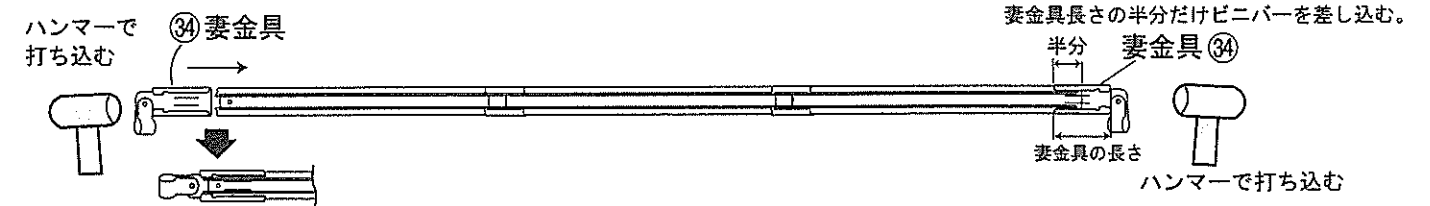
1. 後パイプを取り付ける。



2. ビニバーを組み立てる



3 (上) (中) (下) のビニバーの両サイドに ③④を差し込む



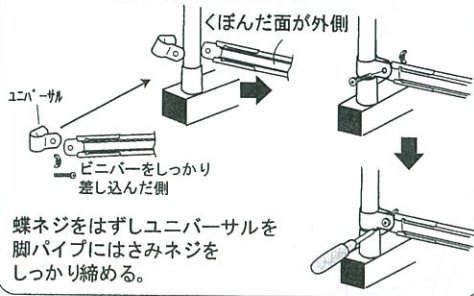
9 後部を組み立てる。

⑧で組み立てたビニバーを取り付ける。

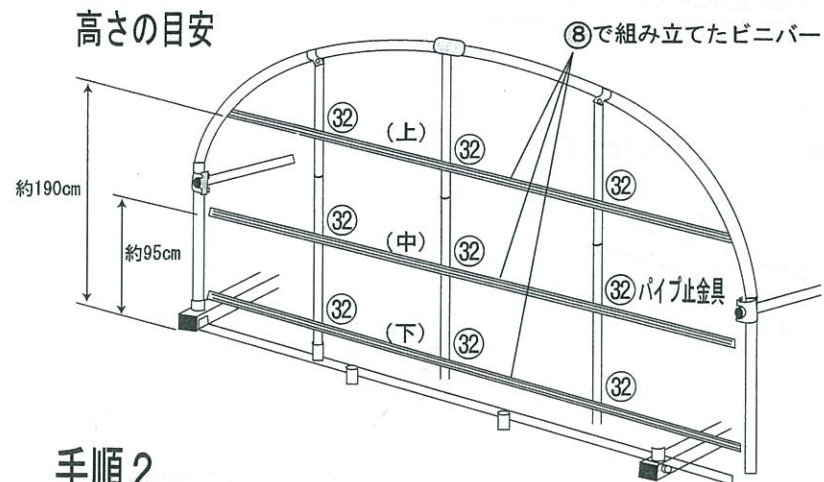
(手順1-2-3)

手順1

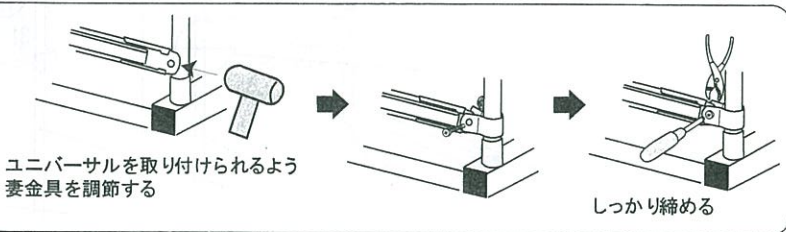
ビニバーをしっかりと差し込んだ側を最初に取り付ける



高さの目安

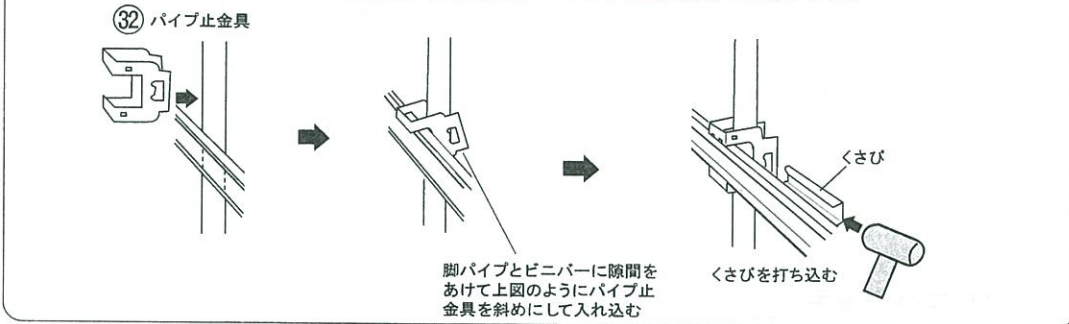


手順2



手順3

上図の後パイプとビニバーが交差する箇所をパイプ止金具③②で固定する。

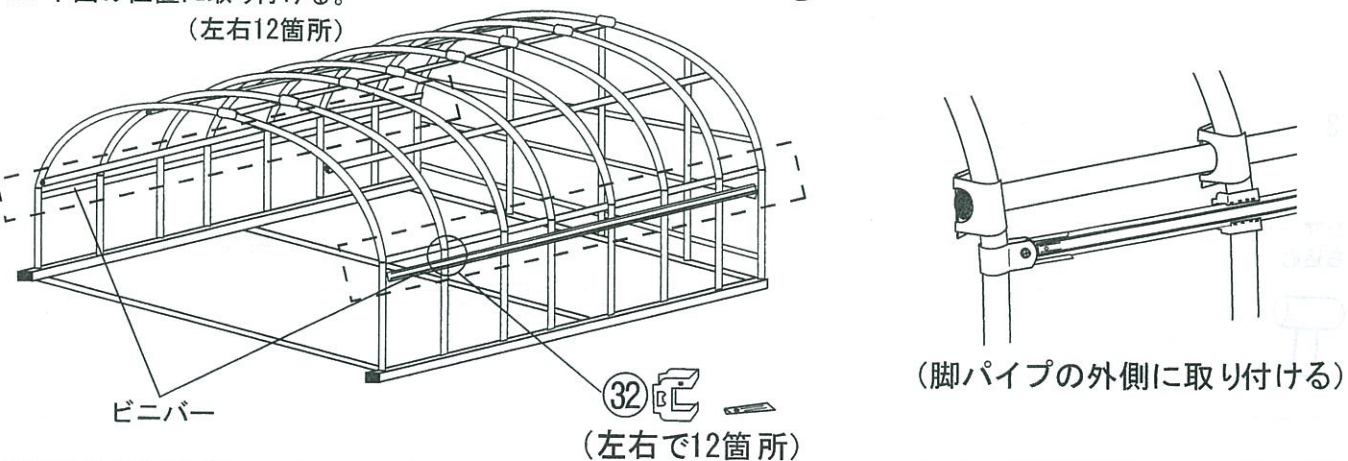


10 側面にビニバーを取り付ける。

1. ビニバーを2組作る。(⑧で作ったときと同じように作って下さい)



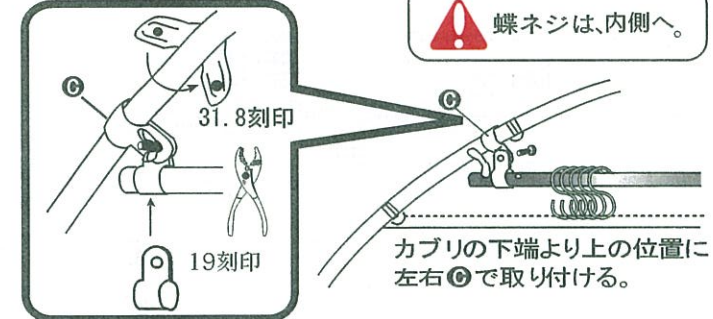
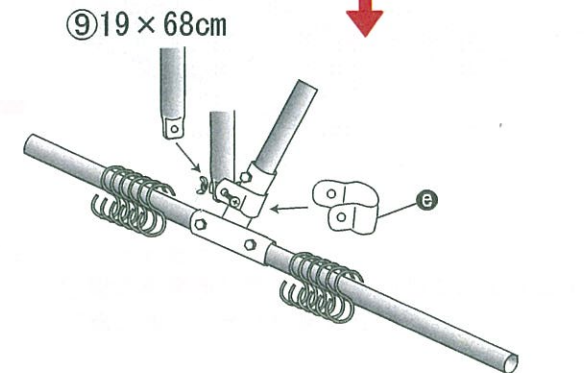
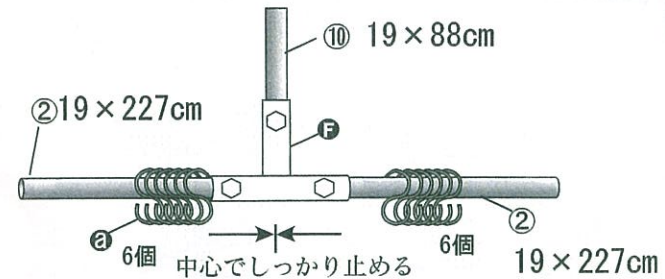
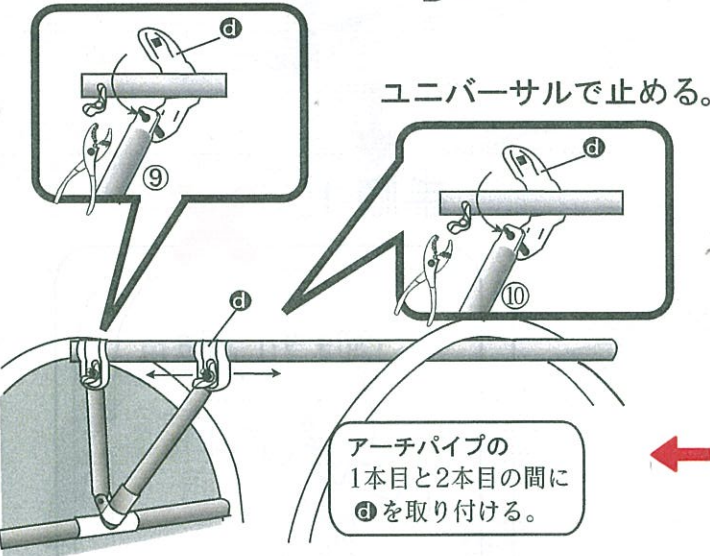
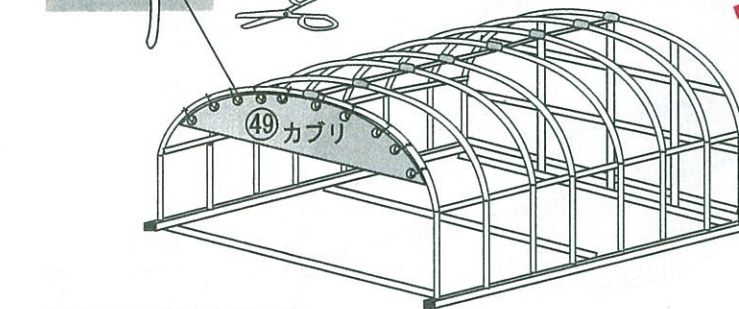
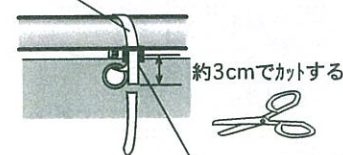
2. 下図の位置に取り付ける。(左右12箇所)



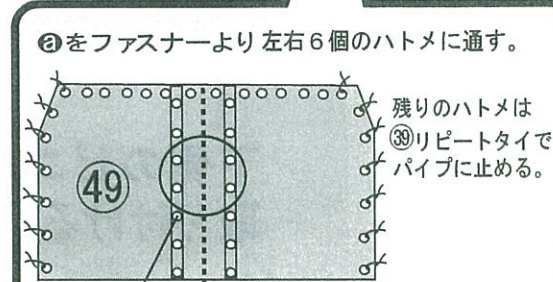
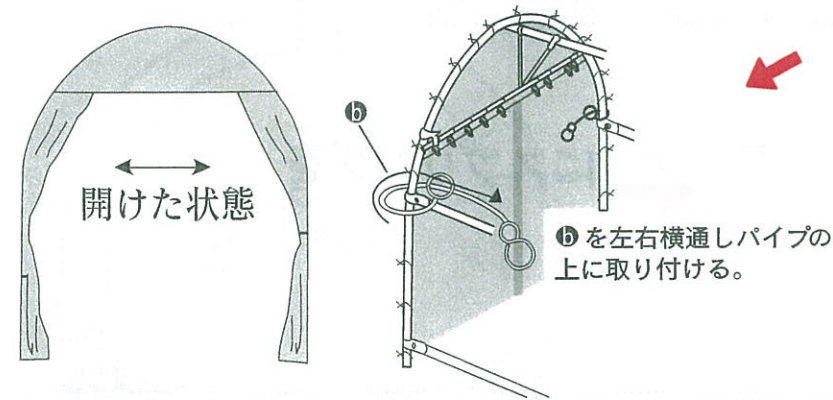
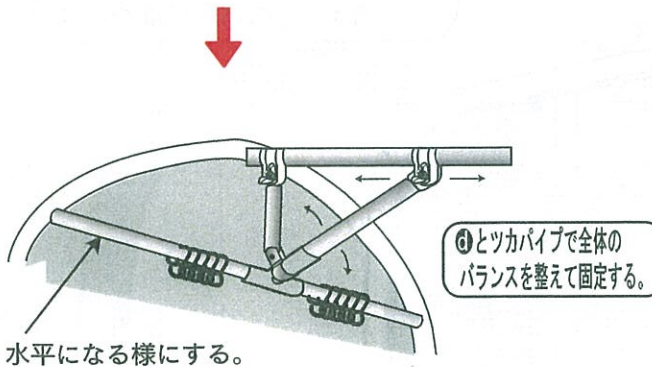
11 前部ツカパイプ、レールパイプを取り付け、前幕を取り付ける。

③⑨リピータイで④⑨カブリのハトメとパイプをとめる。すべてのハトメをパイプに結びとめる。

③⑨リピータイ

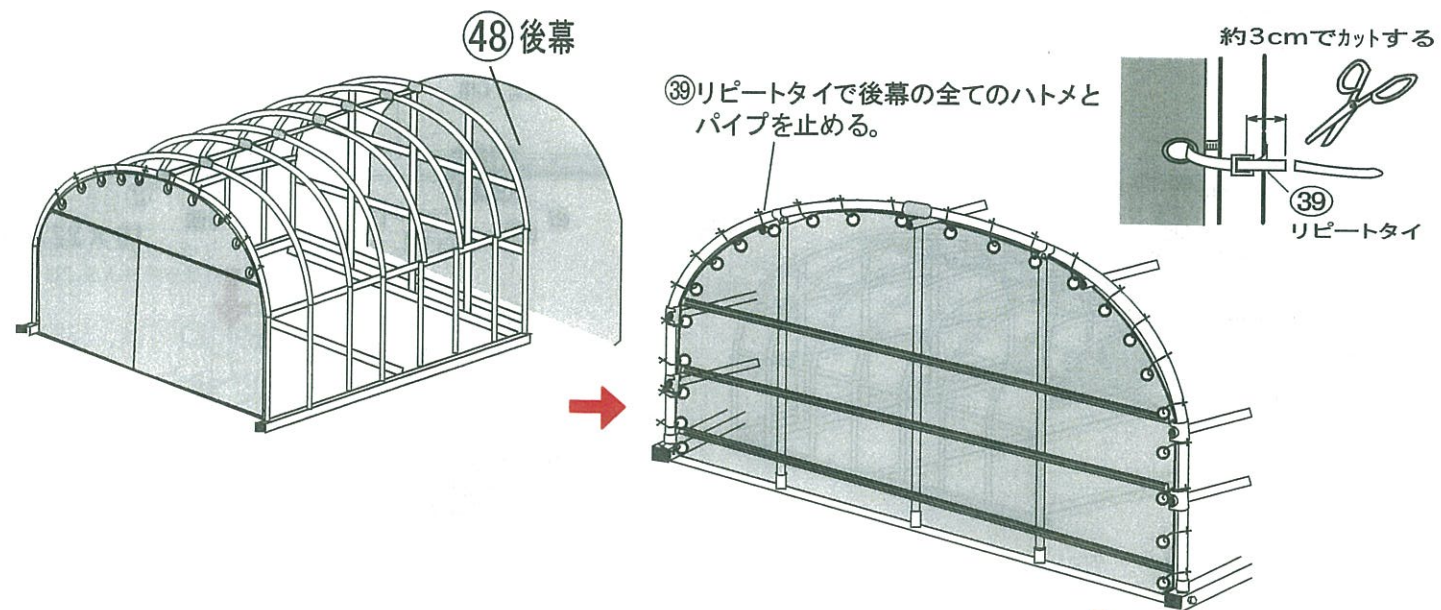


④⑨前幕を広げ取り付ける。

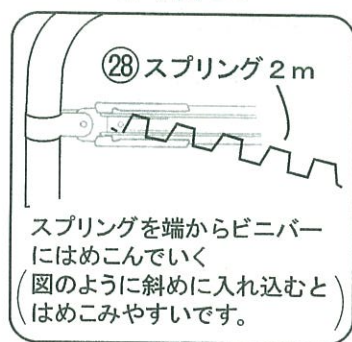


③ ナップ止め (解説 最終ページ)

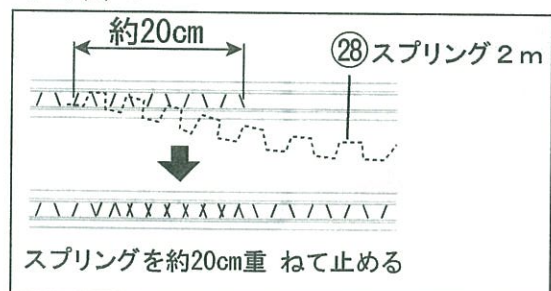
### 12 後幕を取り付ける。



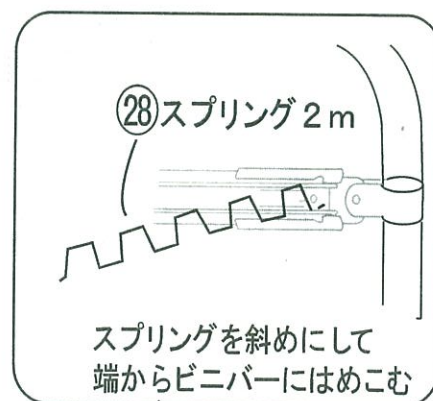
#### 手順2



#### 手順3

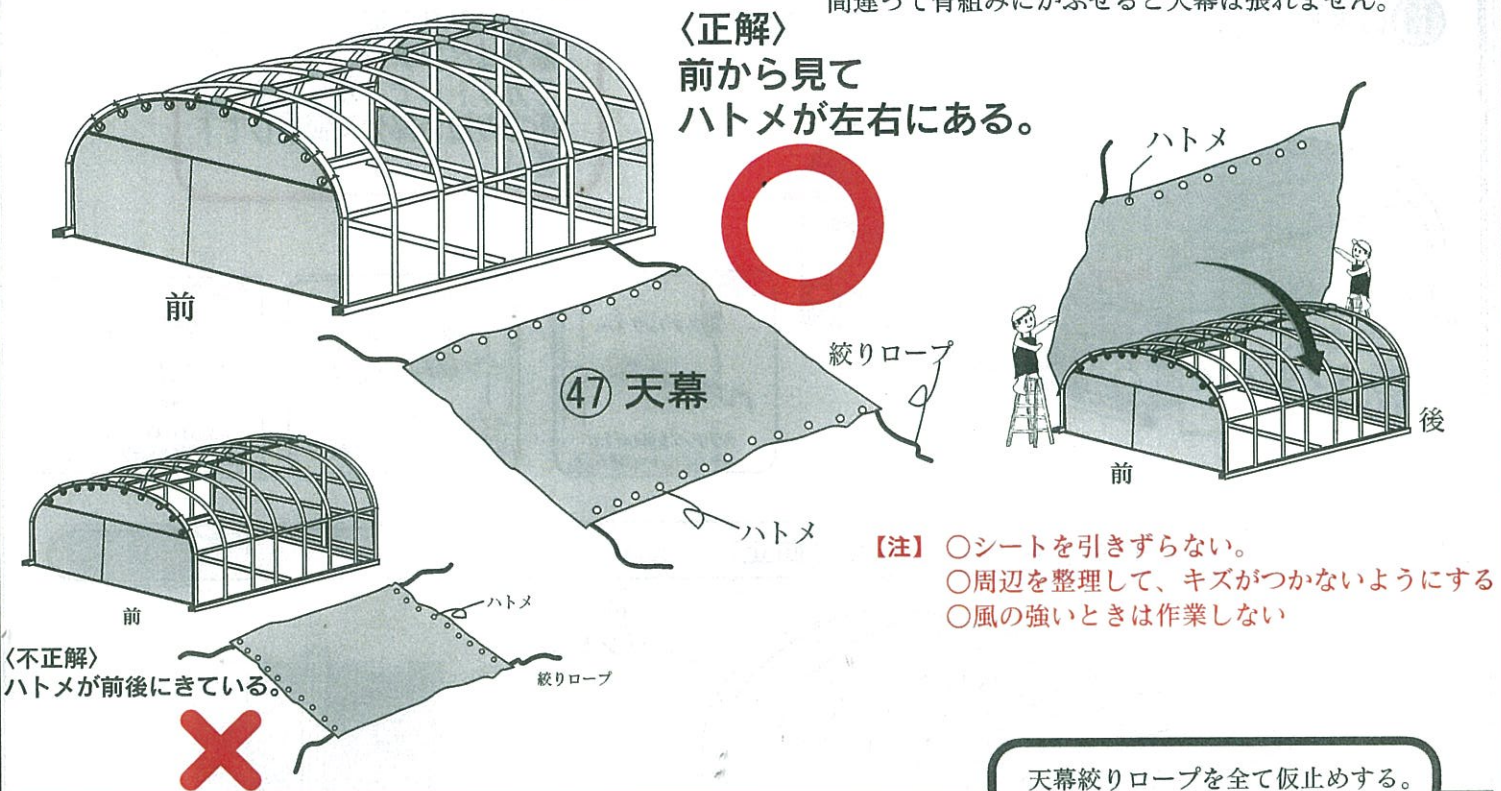


#### 手順1

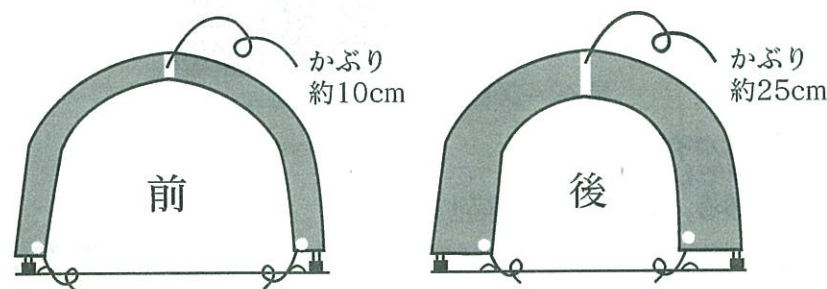


下側のビニバーも同じようにスプリングを取り付ける。

### 13 天幕を広げ、向きを確認して骨組みにかぶせる。

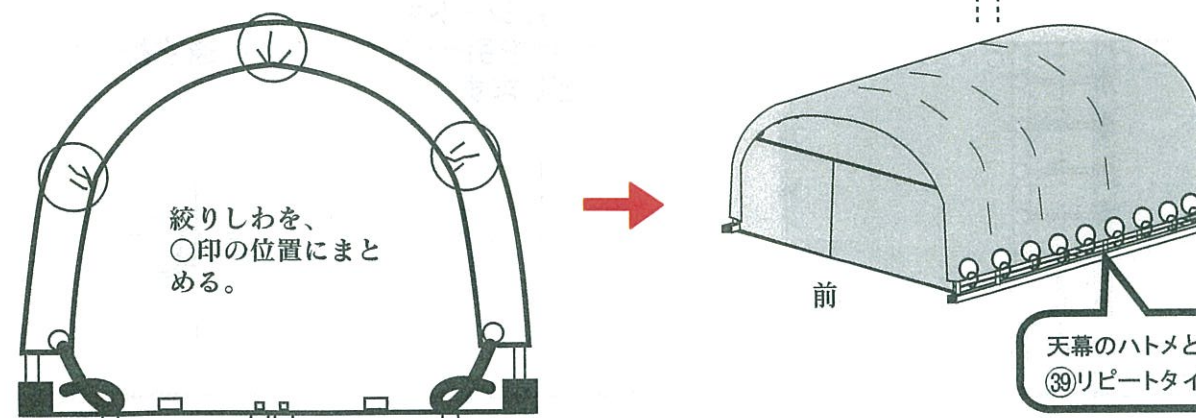
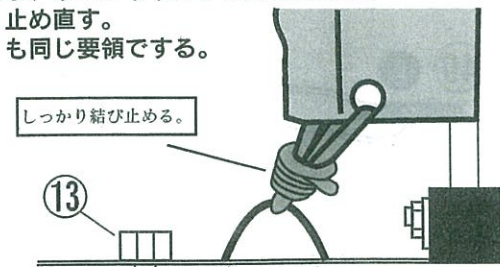


天幕折りロープを全て仮止めする。



前後のかぶり・左右すき間を確認しながら

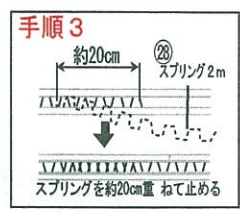
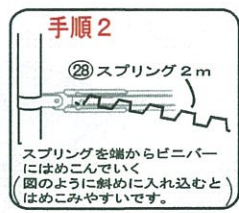
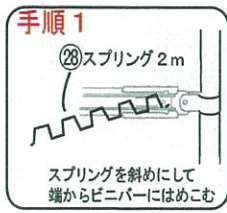
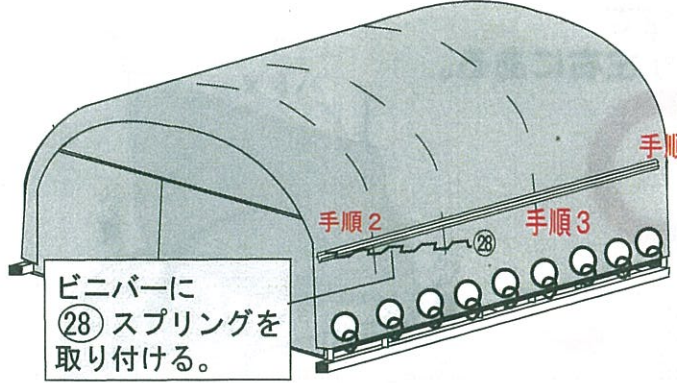
1. 片方のリングからロープを外し、ロープを引き上げる。
2. ロープを引き上げたまま、足を上下に動かしてロープを踏み込み絞る。
3. ピンとロープを張ったら、しっかりリングに結び止める。
4. 片方の仮止めをしっかり止め直す。
5. 反対側(前をしたら後)も同じ要領です。



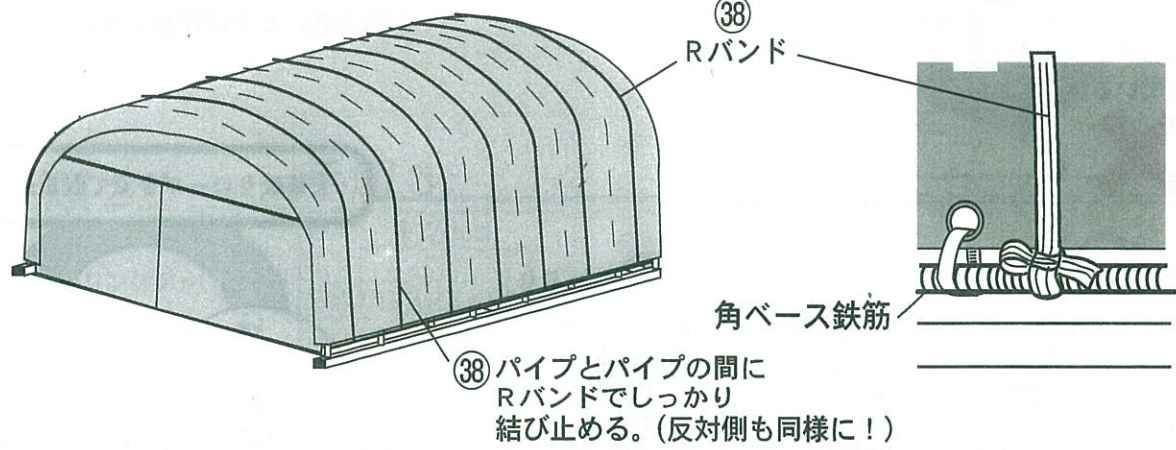
14 天幕を固定する。(サイドのビニバーにスプリングを取り付ける)

13の手順(後幕)と同じように取り付けてください。

※スプリングを取り付け、残る部分はペンチ(クリッパー)等でカットして、残りを他の場所での短い部分に使用して下さい。



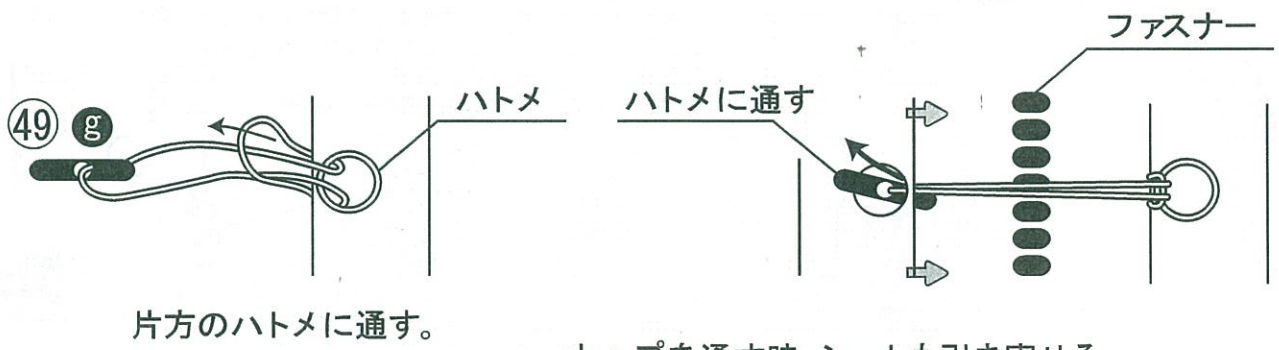
15 天幕をRバンドを使用し、押える。(バタツキ防止)



解説

g ナップ止めの取り付け。

・風によるファスナー保護の為にナップ止めで下記要領でとめて下さい。



片方のハトメに通す。

ナップを通す時、シートも引き寄せる。  
※ナップだけを引っばってハトメに通す様にするときつく感じます。

